

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年11月前半）

### 1. 経済

- 10月のインフレ率は0.3%（前月は0.3%）。2014年全体のインフレ率予測は0.7%（2013年のインフレ率は1.7%）で、次回の賃金物価スライドの発動は2015年第2四半期以降となる見込み。（5日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク商工会議所及び銀行協会、両機関付属の職業訓練機関における研修プログラムを統合する旨5日に発表。右は両職業訓練機関を統合し、「House of Training」を創設することに先立つもの。（5日付商工会議所プレスリリース）
- ルクセンブルク税務当局と多数の多国籍企業間の税務合意についての、国際調査報道ジャーナリスト協会（ICIJ）による調査結果が5日に公表。政府は6日に記者会見を開催し、これらの合意の合法性について説明をした他、政府による税の透明性に向けた積極的な取組を紹介。（6日付ヴォルト紙電子版及び政府広報）
- アルセロール・ミタル社、2014年第3四半期の収益は20,067百万ドル（前四半期は20,704百万ドル）、EBITDA（利払い・税・償却前利益）は1,905百万ドル（同1,763百万ドル）、純利益は22百万ドル（同52百万ドル）。（7日付ヴォルト紙電子版）
- PwCルクセンブルク社、2014年（6月締め）の収益は315百万ユーロ（前年比+10%）。税務部門及び監査部門が好調で、収益はそれぞれ+9.5%及び+5%。（11日付ル・コティディアン紙）
- ルクセンブルク統計局、ルクセンブルクにて登録されている企業総覧を10日に発表。2014年1月現在では、30,476社の登録があり、業種別では登録数が多い順に、商業及び車両修理業が7,529社、専門・科学・技術分野が5,954社、建設業が3,522社など。（10日付け統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク統計局、2015年の経済成長率予測を今春時点での3.3%から2.2%へと下方修正した旨11日国民議会財政予算委員会に説明。2014年の経済成長率予測は引き続き2.9%で変更なし。（11日付ペーパージャム誌電子版）
- 国立貯蓄銀行（BCEE）、ルクセンブルク市の目抜き通りに位置する歴史的建造物であるアルセロール・ミタル社本社屋を購入する旨の合意書に14日に署名。（14日付ヴォルト紙電子版）

## 2. 金融

- 2014年第3四半期の当国保険セクター全体の保険料収入は前年同期比+30.74%。(5日付政府広報)
- KBLヨーロッパ・プライベートバンカーズ、白子会社であるPulaetco Dewaayプライベートバンカーズが、UBSベルギーの買収に向けた合意に署名した旨13日に発表。(14日付ル・コティディアン紙)

## 3. 政府

- シュナイダー経済相、当国自動車部品メーカーであるI E E社の300万ユーロ規模の研究開発計画に対する共同出資協定に6日に署名。(6日付経済省コミュニケ)
- グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ(6日)及びEU財務相会合(7日)に出席。(4日付政府広報)
- グラメーニャ財務相、11日にミュンヘンで開催されたルクセンブルク金融セミナーに参加。同セミナーはルクセンブルク・フォー・ファイナンス及び独ハントスブラット紙が共催。(13日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス)
- グラメーニャ財務相、欧州投資銀行とのマイクロファイナンス分野における協力を定める協定に12日にルクセンブルクにて署名。(13日付財務省コミュニケ)
- ハンセン教育担当閣外相、ルクセンブルク大学の研究所と欧州分子生物学研究所(EMBL)との共同研究に出資する旨の協定に12日に署名。(13日付教育省コミュニケ)
- マイシュ教育相及びシュミット労働相、越境労働者の職業訓練についてのグランド・レジオンにおける協力強化に向けた関係機関との合意に13日に署名。(14日付政府広報)
- グラメーニャ財務相、カザフスタンのスルタノフ財務相と15日にルクセンブルクで会談。(18日付財務省コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。